

優しく強い子に！



<http://www.minamih.net/>
21・7・29(木)
南NEWS no 44

夏休みの4分の1

夏休みの4分の1が過ぎようとしています。皆さんお元気ですか。

暑いですが、外で遊んでいますか。できるだけ自然の中でいっぱい遊ぶことも大切です。

自由研究は進んでいますか。毎日の読書、楽しんでいますか。矢上は昨日、

『万葉の人びと』 犬養孝著 PHP研究所
を読み終わり、1月から読破した冊数は80冊になりました。

書店に注文していた本が2冊届いたので明日取りに行きます。読むのが楽しみです。

ボールにも触って、夏休み中に得意の技を一つゲットしてください。ドリブル・ターンの技を！



カイリ君がノートを届けてくれました。

6年生 カイリ君のスカウティング 7・25(日)
オリンピック 日本vsメキシコ

○ポイント

- ・走っているときは全員が首を振っている。
- ・相手のペナに入ったら下げずにドリブルする。
↓
自分たちは下げて撃たせる。入る率は低い。
- ・パスでメッセージを送っている。
↓
受ける人の足(右・左)をねらって「次はこうしてほしい」ということを伝えている。
- ・相手の陣地ではプレッシャーをかけるだけで良い。
- ・日本代表もミスっていた。あせらない！
↓
相手がいきなりペナに来ても、あせってファールをしたらPKだから、あせらない！

(自分の裏情報)

- ・前半の10分くらいから観て、すでに2点目が入っていたのでびっくりした。
- ・そこらご飯を食べながら観ていて、いろんなことを学んだ。(前のページ) そのあとも10分くらい観て前半終了。
- ・後半が始まってから約10分ヒマで仕方なくTVのアニメを観ていた。TVを観てる間に試合終了！

(結果はどうなったのかな……)

カイリ君が観戦ノートを私の拙宅に届けてくれたのです。少し中途半端だけど、オリンピックの試合を観ながらサッカーを学んでいるカイリ君を嬉しく思いました。お母さんが届けておいでとおっしゃったそうです。

矢上も日本代表・なでしこの試合、ブラジルvsドイツの試合を観ています。ノートに解説者のコメントをメモしながら、いい崩し(コレクティブな攻め)は図に描きながら観ています。

日本vsメキシコ 解説 中田氏 矢上のメモ

- ・日本の得点 6分 久保選手 12分 堂安選手(PK)

○以下は中田氏の解説

- ・ペナの中でのサイド(縦への)仕掛けはPKが取れる。
 - ・ボールを奪われた後、下がるのではなくボールを取りに行っている。良いリズム。
 - ・コンパクトに守る日本。出しどころに困るメキシコ。
- ※日本代表 遠藤選手がブンデスリーガーで学んだこと
行くか行かないか迷ったときは行ける！！

- ・ただドリブルするのではなく、ゴールに向かうのは怖い存在。
- ・日本の守備は切り替えが早く、ボールホルダーに素早くコンタクトする。
- ・ラインを下げてもコンパクトなのでボールが取れる。
- ・前半は全員が献身的にハードワークしている日本。縦20mの距離でシステムがコンパクト。
- ・相手がトラップした瞬間にふたをする酒井選手の守備。
- ・後半はブロックの位置を高くしたい。
- ・裏を狙うプレーは相手が嫌がる。
- ・吉田選手・板倉選手がラインをコントロールしている。
- ・後ろはセーフティでよい。(ペナの中で譲り合いがあった時)



※森保監督の試合後のコメント

前の良い守備からいい攻撃ができた。

決勝トーナメントでの日本代表の試合が楽しみです。しっかりと学びながら応援したいと思います。



